

Graminex 社の”花粉エキス G63”による花粉症への知見

横山博美 鈴木直文 西村良己
(神田医新クリニック)

花粉は次世代の植物の誕生に欠かせないものであり、豊富な栄養分(アミノ酸、ミネラル、ビタミン)を含有しており、未知なる作用を秘めた物質である。今回、我々は花粉エキスを前立腺炎の治療に服用していたら、花粉症の症状が改善したという報告を受け、花粉症に花粉エキスが有効なのかを検討する機会を得たので報告する。

【対象と方法】

当クリニックに通院中で、昨年までに花粉症を患ったことのある9名の患者に問診表の記載、及び、すぎ特異性IgE抗体(すぎ花粉により生成される抗体)を測定した。

期間は1ヶ月から3ヶ月間とし、花粉エキスはアメリカのオハイオ州にあるGraminex社が、自社の畑で、農薬を使用せず、遺伝子操作をしていないライ麦、とうもろこし、チモシー(日本ではおおあわがえりと言われている)の種を使用して栽培し、その花粉を原料としている。花粉は二重の殻からできており、強い耐酸性と耐熱性(300度でも破壊されない)の為に花粉を食べても消化・吸収ができないが、Graminex社では特殊な技術を駆使してG60(水溶性栄養成分)とGFX(脂質溶解性成分)を別々に抽出した後、20:1の比率で複合化させG63という製品に仕上げ、それを提供してもらった。

1日6錠を朝、夕食後に3錠ずつ服用してもらった。1錠あたり250mgで花粉エキスを62.5mg含有する。(1日量・・・花粉エキスとして375mg)

【結果】

9人中2名が来院しなかった為に7人での評価を行った。

症状スコアー

くしゃみ				
4点.非常にひどい	3点.ひどい	2点.少し出る	1点.あまり出ない	0点.全く出ない
鼻水				
4点.非常にひどい	3点.ひどい	2点.少し出る	1点.あまり出ない	0点.全く出ない
鼻閉				
4点.非常にひどい	3点.ひどい	2点.少し出る	1点.あまり出ない	0点.全く出ない
目のかゆみ				
4点.非常にひどい	3点.ひどい	2点.少し出る	1点.あまり出ない	0点.全く出ない

Graminex社の”花粉エキスG63”の知見・・・花粉症

氏名	年齢・性別	診察日	症状スコアー	IgE 抗体	合併症	併用薬・併用サプリ	特記事項
K.S	57M	H17.3.2	12			点鼻.点眼	腹鳴あり
		4.1	12				変わりなし。
M.K	77M	H17.3.3	7	41.5	前立腺癌	ニンニク球	
		4.7		40.8			
		5.5	2	74.6			症状良くなった
T.S	46M	H17.3.3	13				
		来院せず					
Y.N	48M	H17.2.18	5	1.0			10年前に発病し鼻閉.鼻水で不眠
		3.20	4	1.57			3月中旬の大量飛散時に目の痒み,アトピー皮膚炎出現。クラリチン1回の服用にて症状緩和
		4.21	2	3.73			今年はひどいと言われたが、この10年間で一番楽だった。
M.S	51M	H17.3.8	6				
		来院せず					
K.N	57M	H17.3.8	7	1.66	D.M.HT.睡眠時無呼吸症候群		
		4.5	6	1.53			鼻症状,顔の熱感.むくみは例年に比べて良い
		5.3(追加)		1.95			4月中旬より軽くなった。
E.H	43F	H17.3.8	7	100以上			
		4.12	5	100以上			花粉服用して楽になった。
H.Y	30M	H17.3.3	10	6.16			
		4.14	10	96.1			症状は変わりなかった。
T.O	48F	H17.2.25	10	1.67			
		4.30	1	15.50			便秘が解消した。症状はかなり楽だった。

【結論】

7人中5人の症状が改善し、2人が不変であった。特異性すぎ IgE 抗体は7人中5人が上昇し、1人は測定せず、他1人は100以上なので比較できなかった。

【考察】

一條秀憲・東大教授ら科学技術振興機構の研究グループの発表によると、活性酸素が細胞内にあるリン酸化酵素「ASK1」を攻撃し、たんぱく質との結合を引き離し、その分離が引き金となって、「ASK1」の働きが活発になり、炎症やアレルギーを引き起こす「炎症性サイトカイン」が血液中に多量に作られアレルギーを引き起こすことをつきとめた。Graminex 社の花粉エキス G63 はビタミン A、β-カロチン、ビタミン C、E、セレンウムなどの抗酸化物質を多量に含み、アミノ酸、ミネラル、ビタミン等もバランスよく含有している為に、「炎症性サイトカイン」の生成を抑制し、また、血流が改善され、免疫力が高まり、その結果としてアレルギーの症状が改善したと思われる。また、花粉症の治療として、花粉抽出物を注射することにより減感作療法が行われているが、症状の改善と IgE 抗体量との相対関係は認められていない。今回の結果においても、IgE 抗体量との相対関係は認められなかったが症状は 71.4%の人が改善しており、減感作療法も併せて行われたのではないかと推測できる。ただ、注射による減感作療法には 2～3 年かかることを考えれば、Graminex 社の花粉エキス G63 は手軽に服用でき、安全性にも問題ないので有効と思われる。

【安全性】

1人だけ腹鳴があったが、特に下痢などの症状は現れなかった。腸内環境が整う前段階と思われ、その為か、便秘が解消した人もいた。

特異臭はあるが、それは脂溶性成分によるもので、品質の不具合によるものではない。

特記すべき副作用など無く、安心して服用できるサプリメントである。

報告日 : 2005.6.10

以上